

● 交通安全意識の高揚による交通事故防止対策の推進

施策目標（PLAN）

交通事故の総量抑止

実施項目（DO）

- 1 交通事故分析結果に基づく効果的な交通事故防止対策の推進
 - 交通事故発生状況に加え、交通安全教育及び交通指導取締りの実施状況、交通規制を重ね合わせた高度な交通事故分析による精度の高い交通安全対策の推進
 - 歩行者が安心して横断歩道を渡れる社会を目指す「歩行者保護「ゼブラ・ストップ作戦」」の推進
 - 高齢者事故の特徴を踏まえた「地域で守る高齢者交通事故防止作戦」の推進
- 2 交通安全施設の整備と交通実態に即した交通規制の推進
 - 補正予算も活用した横断歩道補修
 - 生活道路や通学路における、信号機の歩車分離化等への改良やゾーン30の整備

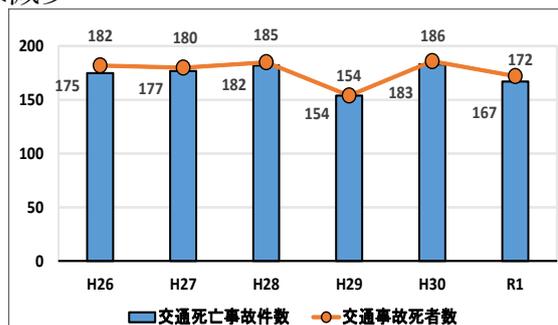
実績（成果）（CHECK）

1 交通事故発生状況

※ 前年と比べて発生件数及び死傷者数は減少



【交通人身事故発生件数及び負傷者数】



【交通死亡事故発生件数及び交通事故死者数】

- 年齢区分で見ると、高齢者の死者数が昨年よりも7名減少したことに加え、死傷者数は過去5年で最少（高齢者対策に一定の効果）
- 2 横断歩道補修
 - 令和元年中は9月補正予算も活用しながら、横断歩道の補修を推進
 - 3 ゾーン30整備実施数（年度単位で行うため参考値）
 - 令和元年中に、4市5か所について新規整備を実施
 - 4 歩車分離式信号整備
 - 歩車分離式信号整備予定箇所を選定

課題及び方針（ACTION）

1 課題

- 交通事故死者数の減少
- 重大事故に直結する飲酒運転の根絶
- 高齢者と子供の交通事故防止対策

2 方針

- 交通事故分析結果に基づく効果的な交通事故防止対策の推進
- 交通安全施設の整備と交通実態に即した交通規制の推進